

## 北岳バットレス ピラミッドフェース～4尾根継続

【日時】 平成30年8月3～5日

【メンバー】 Y川 (L)、T

### 【概要】

8月3日 晴れ後曇り

前夜は葦崎中央公園の駐車場でテン泊としたが、時々通過する車の音がうるさく熟睡できなかった。頭がすっきりしない状態で芦安駐車場へ到着、バス停横の駐車場に停めることができた。すぐに乗り合いタクシーで広河原へと向かい、7時半過ぎに到着した。金曜日であるため人は少ない。広河原ロッジ横からの登山道に取り付き、ひらすら登って約2時間半で白根御池小屋に到着した。テントはまばらで、小屋前の木立の奥にテントを設営し、小屋にて昼食の後昼寝して、13時前にバットレス取り付への確認に向かう。水の流れるC沢のすぐ上のD沢を詰めるが、右の中間尾根に上がる踏み跡を見つけられず、D沢を詰めて涸れ滝手前から中間尾根に上がるともうお花畑であった。尾根の真ん中には明瞭な踏み跡があり、下部岩壁も確認して踏み跡を下った。D沢に30mほど入った一枚岩に下り着き、D沢を詰めるのではなくすぐに中間尾根に上がれば良いことになる。

8月4日 晴れ後ガス

2時半に起床すると、一つ離れたテントはもう起きて準備している。おそらくバットレスであろう。準備を整え、3時20分過ぎにヘッドンで出発する。快晴で、月も出ている。大樺沢に出ると、先行パーティの灯りが見える。中間尾根を登り、お花畑に出ると下部岩壁がうっすらと紅く照らされ出した。先行パーティは4人で、5尾根支稜から4尾根に行くそうである。落石が怖いので、1ピッチ目我々はピラミッドフェースの正規ルートに登ることとする。5時半頃登攀開始、浅い凹角を登って行くが上部で残置が見つけられなくなり、ルートがもう一つ良く分からない。左手の小灌木で支点を取り、その上の草付きを直上すると灌木に残置支点を発見し、ここで切る。

2ピッチ目は、少し登って左にバンドをトラバースする。先行パーティが横断バンドに入ると、ピラミッドフェースの正規ルートはその真下になる。先行パーティは、5尾根支稜からDガリーへはでに落石しており、怖いのでバンドをそのままトラバースしてDガリー大滝の1ピッチ目終了点へ出る。ここから大滝の2ピッチ目を登り、広い緩斜面から横断バンドをトラバースし、実質のピラミッドフェース1P目に至るハング上へのランペ手前で切る。計5P目でランペを10m上がると実質1P目の始点であった。

頭上に下部核心のコーナークラック(V)が見えている。計6P目、残置を目途にほぼ直上し、コーナークラックへ。クラックには一定間隔でハーケンが打たれており、途中でカムもセットできたので思ったよりスムーズに登れた。クラックを抜けると、すぐに終了点であった。7P目は、ワイドな凹角から始まる。下部は手がかりが無く、A0を交えて数m登ると左フェースのホールドが使えるようになり、自然と左上すると終了点があったのでここで切る。8P目、左上してコーナーを回り込むとかぶり気味の凹角で、ハーケンが数枚打たれているがどれも信用できない。新たに1枚打ち、A0で乗り越しさらに左上して灌木で切った。次は、上部核心のクラック(V)である。9P目、指先がかかる左上するクラック沿いに登る。フットホールドが少なく、難しい。核心クラック直下は比較的ホールドが多く、ハーケンも数枚打たれている。指先が入るクラックを中間まで登り、苦しい体勢ながらもカム(0.75)をセットする。これが効果的で、後半部は思い切った動きで上へ上へとホールドを求めて行くことができ、しばらくで終了点があった。10P目はツルツとしたV字凹角からだが、凹角下部はツルツルなので右手のカンテを少し登り、凹角内に入ると後はⅢ級程度の登りで終了点へ。11P目、少し登ってバンドをトラバースすると、10時過ぎに4尾根1P目終了点に出た。誰もおらず、一安心する。

ここからピラミッドフェースの頭まではTさんがリード、白い岩のクラック始点テラスで休憩した。13P目、快適な白い岩のクラックを登り、4尾根核心までのリッジはTさんリード、小垂壁からは高度間のあるピッチが連続するが、Tさんは疲れ気味でリードに不安があるとのことで以後はすべてYがリードする。17P目、枯れ木テラスへはルンゼを登り、18P目は城塞ハング基部へトラバース、19P目に城塞ハングを越え、最後の緩い斜面もスタカットで登って計20P、12時50分に終了した。先行パーティは我々がマッチ箱から懸垂した頃に城塞ハングを越えており、後続パーティは我々が城塞ハングを越える頃懸垂をしていたので、全く順番待ちをせず、また、せかされることもなかった。靴脱ぎ場で大休止して、ガスが時々かかる中を北岳山頂へと登り13時40分着。大勢の方でにぎわっていた。肩の小屋で水分補給の後、登ってくる多くの登山者とすれ違い白根御池小屋へと16時5分に帰着した。長い1日であったが心地よい疲労感であり、反省会の後各自思い思いに過ごした。

8月5日 晴れ 風強し

4時起床、暑くならないうちに下山することとする。5時過ぎに出発し、広河原へは6時40分頃、芦安には8時前に到着。最も早い風呂はバスターミナル前の温泉で9時からのため、温泉を探しつつ行くと穴山温泉に辿り着いた。深田久弥が亡くなる直前まで滞在していた宿だそうで、奥秩父連山が望める静かな温泉宿であった。



第4～第5尾根下部



スタート 浅い凹角の登攀



最上方が下部核心クラック



ワイドな凹角



上部核心のクラック



ツルツとした V 字凹角



白い岩のクラック登攀中の T さん



マッチ箱を背景に登攀中の T さん



枯れ木テラスと城塞ハング



城塞ハング基部よりマッチ箱



城塞ハングを抜けて終了点へ